

地球物理学専攻 学位論文に係る評価に当たっての基準

○修士論文の評価基準

(ア) 満たすべき水準

地球物理学分野の高度な知識を習得し、科学全般の素養を備え、地球物理学の分野をはじめ社会の広い分野において主導的役割を果たすことのできる能力を身につけていること。

(イ) 評価項目

- ① 地球物理学分野の学術研究の進歩に寄与し得る学術的意義を有している。
- ② 論理的な構成を持つ一つの新たな論文として書かれている。ただし、学位申請者による既発表の論文内容を含んでいても良い。
- ③ 共同研究の内容が含まれる場合、当該研究において学位申請者が行った寄与が明確に述べられている。

(ウ) 審査委員の体制

学位論文の審査及び最終試験は、本研究科教授会が設置する審査委員会が行うものとする。審査委員会は、原則として、本研究科担当教授2名以上を含むものとする。審査委員会委員のうち1名を主査とする。

(エ) 審査の方法

論文審査及び最終試験を行い、上記の評価項目により総合的に審査する。

その他、学位論文の審査については、東北大学学位規程及び東北大学大学院理学研究科規程に定める。

○博士論文(課程修了・論文提出によるもの)の評価基準

(ア) 満たすべき水準

地球物理学分野の高度な研究能力と学識、科学全般の高度な素養を備え、国内外で地球物理学の先端的研究を自立して発展させることのできる研究者と同等の能力を身につけていること。

(イ) 評価項目

- ① 地球物理学分野の学術研究の進歩に寄与するに十分な学術的価値を有している。
- ② 学位申請者が自立して研究を行うに必要な研究能力と学識を有している。
- ③ 論理的な構成を持つ一つの新たな論文として書かれている。ただし、学位申請者による既発表の論文内容を含んでいても良い。
- ④ 共同研究の内容が含まれる場合、当該研究において学位申請者が行った寄与が明確に述べられている。

(ウ) 審査委員の体制

学位論文の審査及び最終試験又は学力の確認は、本研究科教授会が設置する審査委員会が行うものとする。審査委員会は、原則として、本研究科担当教授2名以上を含むものとする。審査委員会委員のうち1名を主査とする。

(エ) 審査の方法

論文審査及び最終試験又は学力の確認を行い、上記の評価項目により総合的に審査する。

その他、学位論文の審査については、東北大学学位規程及び東北大学大学院理学研究科規程に定める。